

まほろば秦野通信

平成28年8月2日
秦野市市長公室広報課

タイトル	地域の高齢者との懸け橋に 秦野の民話を題材に生徒が制作した紙芝居を披露
When (いつ)	8月4日(木曜日) 午後1時半から
Where (どこで)	ふるさとホーム渋沢(菩提246番地の1) 施設長 梶沼葉子
Who (だれが)	北中学校演劇部19名(大塚 敦 校長)
What (なにを) How (どのように)	<p>昨年度、市制60周年記念事業として、「歴史を振り返り、その良さを再発見」というコンセプトのもと、市内中学校の美術部が協力して、各中学校区に1作品ずつ、秦野の民話や昔話を題材にした紙芝居を制作しました。</p> <p>今回、高齢者との交流を福祉教育の更なる推進を図る一つの機会として、他の中学校区の紙芝居も併せた3作品程度を、北中学校演劇部の生徒19人が今年1月に学区内に新設された高齢者住宅で実演します。</p>
Why (なぜ)	<p>北中学校では、総合学習で福祉施設でのボランティア活動を推進しており、さらに昨年度より市の福祉教育指定校になる等、福祉教育に力を入れています。</p> <p>今年度は、紙芝居の実演にあたり、7月29日(金曜日)に北中学校で認知症キャラバン隊から講習を受けました。</p>
今後の取り組み	市の防災無線やメール配信で、所在不明の高齢者の情報に触れる機会も多いなか、市内小中学生による認知症高齢者のセーフティネットの構築を目指していきたい。
問い合わせ	教育部教育指導課 担当：佐藤 電話0463(84)2786